DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室

2019. 10

ORGANIC CHEMISTRY

教 授
佐 野 茂 樹
Shigeki SANO

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

1）HWE反応を鍵反応とするグリセロリン脂質合成法の開発
2）Garegg-Samuelsson反応を基盤とするHWE試薬の合成開発
3）安定型イソインドール誘導体の合成ならびに新規蛍光標識剤の開発
4）ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
5）アレニルエステルを基盤とするヘテロ五員環合成法の開発
6）ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品・農薬素材の探索

The main concern of this department is “development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs”.

研究室の情報はホームページ（「分子創薬化学」で検索、
またはQRコードで！）に掲載しています。
詳細についてのご質問等は、研究室（6階東）をお訪ね下さい。

Members of Our Lab.

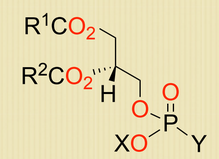
2019-05-27 撮影
薬学部教育研究棟北側にて

2019-10-7 撮影
分子創薬化学教授室にて

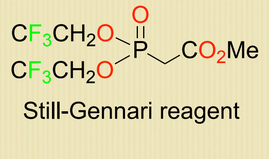
学　部　薬学科５名
　　創製薬科学科９名
大学院　博士前期課程５名
　　博士後期課程２名

助 教
中 尾 允 泰
Michiyasu NAKAO

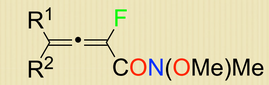
Key Compounds



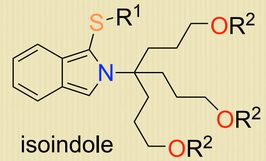
glycerophospholipid



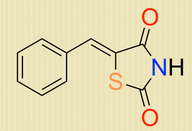
Still-Gennari reagent



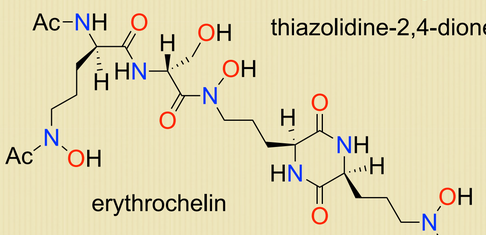
fluorinated allene



isoindole



thiazolidine-2,4-dione



erythrochelin

Key Words　創薬化学　高選択的反応　機能性分子

平成30年度修士論文

・岸本 采乃「アレニルエステルのホスファ-マイケル付加反応によるビニルホスホン酸エステルの合成研究」
・島袋 友岐「アレニルエステルのチア-マイケル/ディークマン反応による三置換チオフェンの合成研究」
・関 和雅「ビス(オルガノチオ)ホスホリル酢酸メチルおよび類縁体の合成とHWE型反応への応用」

平成30年度卒業論文（薬学科）

・鑓 隆一郎「パラ置換フェニル基を有するN-メチルジケトピペラジン誘導体の合成と立体配座解析」
・小田 幸弘「近赤外蛍光標識ダサチニブ誘導体の合成研究

平成30年度卒業論文（創製薬科学科）

・井原 嵩人「スルホニル化キラルDPENを用いるσ対称1,3-ジオキサン-2-オン誘導体の不斉開環反応
・大多和 孝一「アレニルエステルとヒドロキシ酢酸メチルのオキサ-マイケル/ディークマン反応」
・森 美月「オルトフタルアルデヒド法を基盤とする2-メルカプトベンゾチアゾールのS-メチル化反応」

技術補佐員
竹 内 菜 穂 子
Nahoko TAKEUCHI